

第13回 全国カトリックスカウト キャンポリー

(第5回カトリックスカウト 国際キャンポリー)

テーマ:『さあ、ともに漕ぎ出そう～新しい海原へ～』



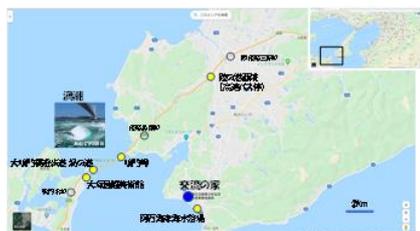
期間 2024年(R6年)8月10日(土)～14日(水)4泊5日

場所 国立淡路青少年交流の家

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39

主催 日本カトリックスカウト協議会(JCCS)

大会の規模 約500名 (内、外国隊約 60名)



2024年 13thキャンポリー プログラム概要

	8/9 (金)	8/10 (土)	8/11 (日)	8/12 (月)		8/13 (火)		8/14 (水)
				各隊7:00	各セクター提供7:00等	各隊7:00	各セクター提供7:00等	
朝 6:00-9:00		アンジェラスの祈り/国旗・JCCS旗掲揚/配給						
		朝の祈り	朝ミサ (主日のミサ)	朝の祈り		朝ミサ		朝ミサ
		朝食						
午前 9:00-12:00	実行委員 入場	入場・オリ ンテーション	「みんなでつくろ う、おおきなワワ ワ…輪・波・和」 (交流会)	・各隊7:00	・交流の家提供7:00 ・場外プロ ・宗務7:00	・各隊7:00	・交流の家提供7: 00 ・場外プロ	撤営・ 退場
昼 12:00-13:00		配給/昼食						
午後 13:00-16:00	ユース隊 集合 会場設営	入場・オリ ンテーション 設営	あわじふえす (交流会)	・各隊7:00	・交流の家提供7:00 ・場外プロ ・宗務7:00	・各隊7:00	・交流の家提供7: 00 ・場外プロ	各セクター撤収
16:00-19:00		配給/代表者会議/国旗・JCCS旗降納/アンジェラスの祈り/夕食/入浴						
夜 19:00-21:00		開会式	19:00-20:30 大会ミサ	ファイヤー		閉会式		
21:30		大会運営会議/セクター会議						
期間を通した プログラム		-	「あわじスマイル」(隊・団)、あわじの国のパスポート(個人)、「ジャンボフラッグを完成させよう!」					
		-	「十字架の道行」、「ロザリオづくり」					

 各セクターが運営
 各隊が運営
 その他

①開会式 8月10日(土) 19:00～20:30

参加団や海外からの参加者を紹介し、前回みんなで創った「ちかい・やくそくの帆」と「いのりのオー
ル」を囲みながら、今回大会のジャンボフラッグのお披露目を行います。

②交流プログラム ～きょうだい団を探せ! 友だち団を作ろう! 友だちを広げよう!～

8月11日(日) 午前(9:30～11:30)お祭り広場の原っぱ

「みんなでつくろう、おおきなワワワ…輪・波・和」 午後(13:30～15:30)体育館・講堂

「あわじふえす」クラフト、ゲーム、歌や踊りのお祭り

「あわじスマイル」期間中を通して 8月11日(日)～8月13日(火)…写真を記念に

あわじの国パスポート」(スカウトひとりひとりが新しいお友だちとサインを記念に♪)

「ジャンボフラッグを完成させよう！」ジャンボフラッグに、名前を書いてください。

③大会ミサ 8/11(日) 19:00~20:30

大会としてのごミサを捧げます。BS キリスト教章・GS カトリックスカウトバッジのキリスト教章の授与式を予定しています。



④閉会式 8/13(火) 19:00~20:30

⑤毎日の祈り・ミサ 大会期間中、毎朝、ごミサ、お祈りがあります。

⑥キャンプファイヤー 8月12日(月)19:00~20:30 吹上浜 2基、異なるファイヤーを行います。

⑧信仰奨励プログラム(場内) 8月11日(日)~8月13日(火)

「イエスの生涯」場内に「十字架の道行」のポイントを設置します。お好きな時間に回ってください。

「ロザリオづくり」「みんなの部屋」にロザリオキットを用意し自分だけのロザリオを作って、お祈りをしましょう。

⑨信仰奨励プログラム(場外) 8月12日(月) 大塚国際美術館で宗教美術を鑑賞するツアー

第13回 全国カトリックスカウトキャンポリー開催にあたって

カトリック大阪高松大司教区 大阪高松大司教 トマス・アキナス 前田 万葉 枢機卿



2021年8月に、「さあ、沖にこぎだそうスカウトのみちを一」をテーマに淡路島で、「キャンポリー」が開催される予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症のために、集まらないという困難を乗り越え、スカウトが時間と場所を超えて、「ひとつになる」ことを目指し、「全く新しい形のキャンポリー」が開催されました。それは、まず5月30日に東京で開会式を行い、「祈りのオール」と「ちかい・やくそくの帆」などを製作し、10月10日、大阪豊中教会で閉会式ミサがあり、「さわやかに沖に漕ぎ出せスカウトよ」、「スカウトの沖に漕ぎ出す野分波」と詠んだことを覚えています。

この度は、第13回全国カトリックスカウトキャンポリーが、来年8月10日から14日まで、新設された大阪高松大司教区の同じ淡路島で行われるということです。大会テーマは、「さあ、ともに漕ぎ出そう~新しい海原へ」です。教皇フランシスコの呼びかける「シノドス(ともに歩む教会 — 交わり、参加、そして宣教)に連動するテーマだと思えます。また、「新しい海原へ」は、新しい大司教区となった「大阪高松大司教区」のイメージが滲んでいます。しかも淡路島という四方を海に囲まれた場所での大会ですから、テーマにふさわしい条件が整いました。「ここから四方八方の海原にともに漕ぎ出す」かのように。

大会場所的に関連してその通り言えますが、本当のねらいは、「お互いを幸せにするように働く」という「新しい海原」であって欲しいとの願いが込められているそうです。「幸せになる本当の道は、他の人たちを幸せにすること」という言葉からとられているとのこと。

なるほど、日本語の「しあわせ=幸せ」は、「仕え合う=仕合せ」からきていることにも関連しています。つまり、「他の人たちを仕合せにすれば、自分も仕合せにしてもらえる」のです。「キャンポリー新海原へシノダリティ」、「キャンポリー仕え合うみちシノダリティ」と、励まし歓迎したいと思えます。

日本カトリックスカウト協議会 全国総担当司祭 パウロ三木 稲川 圭三



4年に一度開かれるJCCSキャンポリーが、いよいよ2024年8月に兵庫県「淡路青少年交流の家」で開催されます。振り返ってみると、第11回は2016年静岡県・御殿場、そして4年後のはずの第12回は、オリンピック東京2020の関係で翌年の2021年となりました。この大会はコロナ禍の厳しい制限の中、全く新しい方法で開催されました。「時間」と「場所」を超えて友だちをつくり、「祈りのオール」と「ちかい・やくそくの帆」を一つに集めて、次の船出の準備をしました。

そして、今回第13回はいよいよ「さあ、ともに漕ぎ出そう~新しい海原へ~」という大会テーマで、実際にみんなが集まったの形で開催されます。B・Pがラストメッセージの中で言っているように、「幸せになる本当の道は、他の人たちを幸せにすること」です。この大会での出会い一つひとつが、相手を幸せにする「船出」になっていくように、一緒に漕ぎ出しましょう。

みなさん、ご存じですか。みなさんの「ちかい」「おきて」「やくそく」「きまり」「さだめ」が、みんな、「です」「である」「~ます」「します」というわたしたちの「ハイ」であることを。一つとして「~してはだめ」がないのです。それは、スカウト運動が人間への絶対的な信頼に立っているからです。わたしたちの「ハイ」「そうです」「します」に、絶対的な期待が寄せられているのです。

人間の中には神さまが共におられます。だから、その神さまと一緒に、友だちと一緒に、リーダーと一緒に、大自然と一緒に、一人でも多くのだれかを幸せにすることが出来るように、皆が出来ることを「します」。そういうすてきな大会になっていきますように、力を合わせたいですね。

キャンポリー会場でみなさんにお会いできることを楽しみにしております。

弥栄